

●ごみの野外焼却(野焼き)禁止

「ごみを燃やす臭いがする」「煙で窓が開けられない」など、野焼きに関する苦情が町に多く寄せられています。

野焼きは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により罰則付きで禁止されています。ドラム缶、ブロック囲いや穴を掘った野焼き、一定の基準を満たしていない焼却炉の使用も禁止です。有害物質の発生や近所迷惑になるのでやめましょう。

●禁止の例外

野焼きはやむを得ないものについて例外が認められています。

▽災害時などの応急対策、火災予防訓練
▽焼き畑、畔草、下枝や魚網にかかったごみの焼却(廃ビニールの焼却は禁止)
▽キャンプファイヤーなどを行う際の木くずの焼却
▽どんど焼きや塔婆の供養焼却などの行事における焼却

●ご近所への配慮

例外的場合であっても、大量の煙や臭いが出て、苦情の原因となることがあります。できるだけ、ごみ収集やごみ焼却施設へ出しましょう。

やむを得ず焼却する場合は、

▽ご近所に一声掛けて理解を得てから行う
▽煙がなるべく出ないよう草木をよく乾かす
▽少量ずつ焼却する
▽風向きや洗濯物を干す時間帯を避ける
―など、十分配慮してください。

夏の節電に取り組もう

夏の日中(13時～16時ごろ)は電力使用のピークとなります。無理のない範囲で節電にご協力ください。

【節電要請期間】※経済産業省より

7月1日(月)～9月30日(月)の平日9時～20時
※8月13日(火)～15日(木)を除く

【節電メニュー】

●エアコン

- 温度設定は28℃を目安に
- 無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用する。すだれ、よしずやみどりのカーテンなどで窓からの日差しを和らげる

●テレビ

- 画面設定は「省エネモード」に、画面の輝度は低くする
- 必要なとき以外は消す

●照明

- 日中は不要な照明を消す

●冷蔵庫

- 温度設定を「強」から「中」に(食品の傷みに注意)
- 扉を開ける時間を減らし、食品は詰めすぎない

●スイッチ

- リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る
- 長時間使わない機器は、コンセントからプラグを抜く

小型家電の回収ボックスに 蛍光管、電球や電池を投入しないで

蛍光管、電球や電池は使用済小型家電リサイクルの対象外です。小型家電の回収ボックスに投入しないでください。

●蛍光管の出し方

販売店の店頭回収を利用するか、有害ごみの日に、ごみ集積場所へ出してください。

●電球の出し方

埋め立てごみの日に、ごみ集積場所へ出してください。

●電池の出し方

- ▷充電式電池やニッケル電池
販売店の店頭回収を利用してください。
- ▷乾電池(アルカリ・マンガン)

販売店の店頭回収を利用するか、蛍光管とは別の袋に入れて、有害ごみの日にごみ集積場所へ出してください。

ライターは ガス抜きをしてから捨てましょう

埋立ごみの収集中に爆発し、火災の発生する事故が多発しています。

●ライターの出し方

火の気のないことを確認し、風通しの良い屋外でガス抜きをして、埋立ごみの日にごみ集積場所へ出してください。